

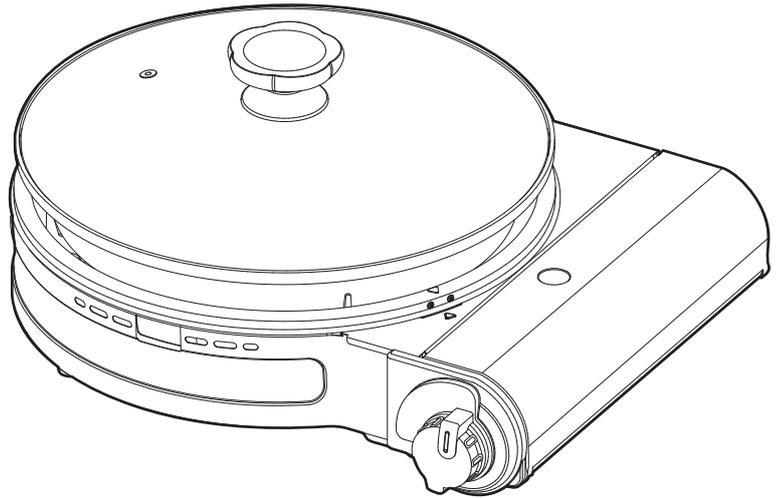
# 取扱説明書

## Iwatani

イワタニカセットフー  
ビストロの達人Ⅲ 一般家庭用

### CB-BST-3

立ち消え安全装置付き



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、記載内容に従って正しくご使用ください。  
そしてお使いになる方がいつでも本書を読めるよう大切に保管してください。

この製品は調理を目的として家庭用に使用されることを使用条件として製造されています。  
その条件を超えた過酷な使用や特殊な使用をすると、故障、使用者のけが、あるいは火災の原因となる可能性があります。  
この取扱説明書に記載されている注意事項に従って正しく使用してください。

#### 目次

表紙(このページ) .....	1
各部の名称と使い方 .....	3 ~
・主な仕様 .....	3
・点火と火力調節と消火 .....	5
使用上の注意 .....	6 ~
・容器(ボンベ)の取扱いについて .....	9
使用後のお手入れと点検 .....	9
「故障かな?」と思ったら .....	10 ~
部品のご案内 .....	11
アフターサービス .....	12

ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください

#### 〈ご使用の前に〉

製品を正しくお使いいただくため、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。  
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**危険**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



**警告**

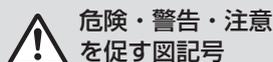
この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。



**注意**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害の発生が想定される場合を表しています。

〈絵表示には次のような意味があります〉



危険・警告・注意  
を促す図記号



必ず行う内容



禁止内容



接触禁止

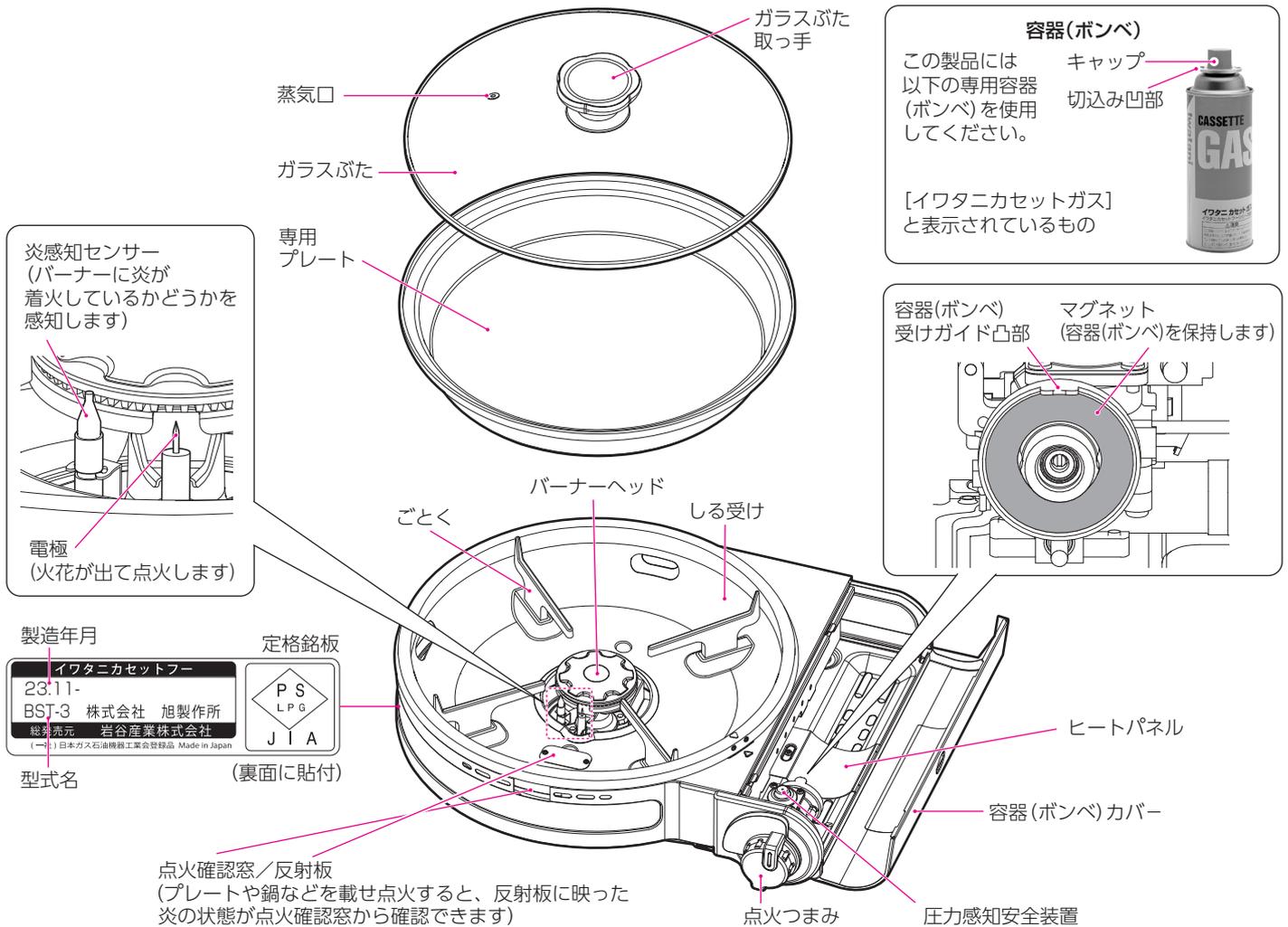


分解禁止

岩谷産業株式会社



# 各部の名称と使い方



## この製品の特長

### 「カセットガス式グリルパン」と「カセットこんろ」の2つの機能

- 調理目的に合わせ機能を選んでご使用ください。
- 専用プレートを載せて、グリルパンとして使う。
  - 専用プレートを取り外して、カセットこんろとして使う。

### ガスの気化を促進するヒートパネル

燃焼中の容器(ボンベ)は、ガスの気化が進むにつれて温度が下がり、火力が弱くなったり、ガスをすべて消費できなくなったりします。それを防ぐため、燃焼中のバーナーの炎の熱を適度に容器(ボンベ)に伝え、ガスの気化を促進して、火力を維持しガスを最後まで使い切ります。このため容器(ボンベ)が少し熱くなりますが、異常ではありません。

### マグネットを使った容器(ボンベ)の着脱

レバーを使わず、マグネットの磁力を利用して容器(ボンベ)を取り付ける仕組みです。誤った容器(ボンベ)の取り付けが起りにくい取り付け方法です。

### 圧力感知安全装置

容器(ボンベ)の中の圧力(=温度)が異常に高まる(約40℃以上)と、自動的に容器(ボンベ)を離脱させ炎を消します。

### 立ち消え安全装置

風や吹きこぼれなどによって火が消えたときに、自動的にガスを遮断する装置です。

- 圧力感知安全装置が作動したときは**、点火つまみを「消」の位置に戻し、本体から容器(ボンベ)を取り外してください。その後、「使用上の注意」(P.6~9)をよくお読みいただいて原因を取り除き、水で冷やした容器(ボンベ)または新しい容器(ボンベ)を装着し、ご使用ください。
- 立ち消え安全装置が作動したときは**、点火つまみを「消」の位置に戻し、立ち消えの原因を確認後、再び同じ状況が発生しないように対処してください。(P.10) 立ち消え後、ガスが完全に停止するまで約10秒かかりますので、ガスのニオイがなくなったことを確認してから、再点火してください。

## 主な仕様

機種名	イワタニカセットフー ビストロの達人Ⅲ
型式	CB-BST-3
点火方式	圧電点火方式
安全装置	圧力感知安全装置(容器離脱型)、立ち消え安全装置 容器装着安全装置
最大外形寸法(使用状態)	387 mm(幅) × 318 mm(奥行) × 184 mm(高さ)
本体重量	約3.4 kg(容器(ボンベ)は含まず)

JGIA (一社)日本ガス石油機器工業会登録品

使用ガス	ブタンガス
出力(ガス消費量)	2.3 kW(2,000 kcal/h相当、169 g/h)(気温20~25℃)
連続燃焼時間	約107分(最大火力で新品容器(ボンベ)をすべて使用したときの実測値。気温20~25℃)
使用容器	イワタニカセットガスと表示されている専用容器(ボンベ)
使用できる鍋	目安として土鍋9号まで(小さい鍋は鍋底が16 cm以上)、食品を含む総重量5 kg以下

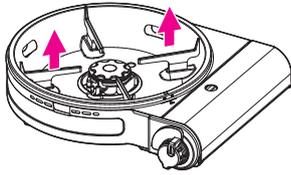
## ■しる受けの取り外し方／取り付け方

しる受けを取り外すときは、本体が冷めていることを確認してから行ってください。

本製品のしる受けは、煮こぼれなどによって汚れた場合に、取り外してお手入れすることができます。以下の要領で取り外し、お手入れ後は正しく取り付けてください。

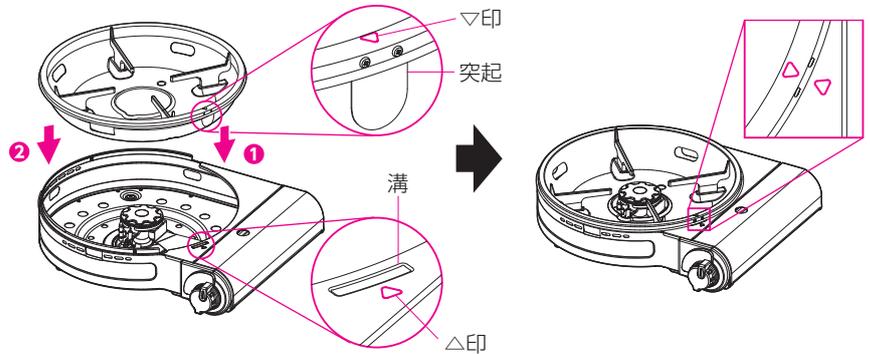
### 【しる受けの取り外し方】

ごとくを上方向に持ちあげて、しる受けごと取り外します。



### 【しる受けの取り付け方】

- しる受けの突起(▽印側)を器具本体の溝(△印側)に差し込みます。
- しる受けの反対側の縁を本体に押し込むようにして取り付けます。



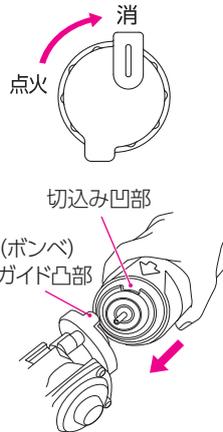
燃料の容器(ボンベ)は、必ず「イワタニカセットガス」と表示されているものをご使用ください

## ■容器(ボンベ)の取り付け方

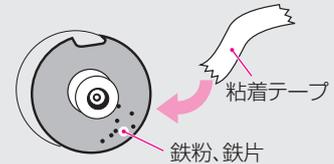
下記の手順に従って容器(ボンベ)を取り付けてください。誤った手順で取り付けたら、予期しない危険が考えられますので、ご注意ください。

●しる受けが正常に取り付けられていることを確認してください。

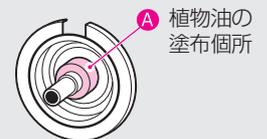
- 容器(ボンベ)カバーを開けます。
- 点火つまみを「消」の方向へ止まるまで回します。  
・点火つまみが「消」の位置にないと、容器装着安全装置が動き、容器(ボンベ)を装着できません。
- マグネットに異物が付着していないか確認します。
- 容器(ボンベ)のキャップを外します。
- ヒートパネルに容器(ボンベ)を載せ、切込み凹部を容器(ボンベ)受けガイド凸部に合わせます。
- 右図のように容器(ボンベ)の頭近くに手を添えて、そのまま水平にスライドさせ、完全にマグネットに密着するまで押しつけて装着します。



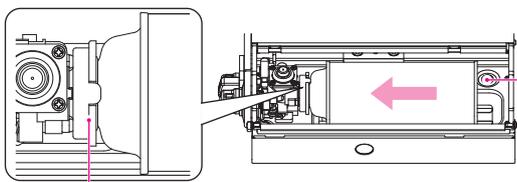
■マグネットに異物が付着しているとき  
マグネットに鉄片や鉄粉が付着するとガス漏れしたり、容器(ボンベ)を装着できなくなる場合があります。付着したときは、粘着テープを使って取り除いてください。



容器(ボンベ)の取り付け(装着力)が重い場合には、容器(ボンベ)の先端(下図A)に植物油を薄く塗ってください。



イワタニカセットガス使用時  
容器(ボンベ)が正しく装着されているときには、容器(ボンベ)の後ろ側に約3.5 cmのすきまがあります。  
容器(ボンベ)装着部分は多少の「遊び」があり動く設計になっております。問題はございませんので安心してご使用ください。



マグネットと容器(ボンベ)の間にすきまがないように確実に取り付けてください。

- 容器(ボンベ)を装着したら容器(ボンベ)カバーを閉じます。  
・容器(ボンベ)の誤装着でガスが漏れた場合は、溜まったガスに引火しないよう、ガスのニオイがなくなるまで点火しないでください。  
・再点火は容器(ボンベ)装着部に溜まったガスをうちわなどであおいでから行ってください。

## ■点火と火力調節と消火

### ① 点火します

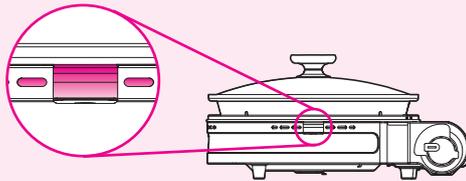


点火つまみを「点火」方向に「カチッ」と音がするまで回し、点火確認窓から点火したことを確認します。

- 点火しない場合は、点火つまみをすぐに「消」位置まで戻し、繰り返し点火してください。使い始めや、容器(ボンベ)の温度が低いときは点火しにくい場合があります。注意しながら数回、点火操作を繰り返してください。

### ■点火・火力調整・消火の確認

点火確認窓から反射板に映った炎の状態を確認してください。



### ② 火力を調整します



点火つまみを「点火」方向に回すと火力を強く、「消」方向に回すと弱くすることができます。

- とも火にする場合は必ず炎を確認してください。とも火の場合、炎が見えにくくなります。
- 炎を小さくしすぎると、風で消えやすくなるのでご注意ください。
- 一度で点火しなかった場合は、**引火しないよう溜まったガスをうちわなどであおいでください。**

### ③ 消火します



点火つまみを「消」方向に止まるまで戻します。

## ■使い終わったら(消火後の措置)

### ① 完全に火が消えたことを確認します

- 消火直後は本体・容器(ボンベ)ともに熱くなっていますので、熱が冷めるまでしばらくお待ちください。

### ② 容器(ボンベ)を取り外します

- 容器(ボンベ)は必ず取り外してください。器具の故障やガスが漏れるおそれがあります。

### ③ 容器(ボンベ)を取り外した状態で点火する

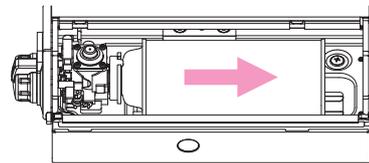
- 本体の配管に少量のガスが残ります。危険防止のため、もう一度点火して残っているガスを燃焼させてください。



## ■使用後の容器(ボンベ)の取り外し方

使用後は必ず容器(ボンベ)を取り外し、キャップをして保管してください。

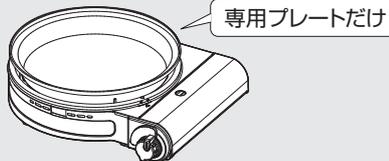
- ① 容器(ボンベ)カバーを開け、容器(ボンベ)を持って取り付けるときと逆の方向に、少し力を入れて水平にスライドさせ、マグネットから取り外します。
- ② 取り外した容器(ボンベ)にキャップを取り付けます。
- ③ 容器(ボンベ)カバーを閉じます。



## ■グリルパンとして使う場合

### 鉄板焼きメニューを楽しむ

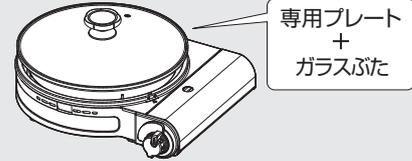
(焼肉、焼きそば、お好み焼きなど)



専用プレートだけ

- ・ 焼き面にフッ素樹脂加工を施していますので、油を使わなくても、材料がこびりつきません。
- ・ フッ素樹脂加工は、空焼きなどで高温になると急激に劣化しますので、中火などの適切な火力でご使用ください。
- ・ **フッ素樹脂加工の劣化は、製品の機能保証に含まれません。キズをつけたり煙が立つような空焼きは絶対にしないでください。** フッ素樹脂加工の効果がなくなります。

### 鍋料理や蒸し焼きメニューを楽しむ

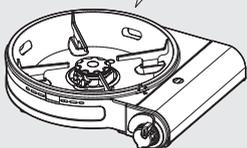


専用プレート + ガラスぶた

すき焼き、土手鍋、煮込みうどんなど浅型の鍋で作る料理、あるいは付属の「ピストロレシピ」のおもてなしメニューや餃子、シュウマイなどの蒸し物メニューも卓上でお楽しみいただけます。また、ガラスぶたの蒸気口をふさいで水洗いした野菜を弱火で加熱すると、野菜の無水調理もできます。

## ■カセットこんろとして使う場合

専用プレートなし



付属の専用プレートを外して使用します

- 以下のカセット用専用アクセサリ(別売)を使用することができます。

フッ素加工・鉄板焼きプレート／フッ素加工・たこ焼プレート／フッ素加工・焼肉プレート(S)、(L)／網焼きプレート／フッ素加工・ジュニアマルチプレートガラス蓋付き／フッ素加工・ジュニアたこ焼プレート／フッ素加工・ジュニア焼肉プレート

※鉄鋳物製・焼肉グリルは使えません。(2023年10月現在)

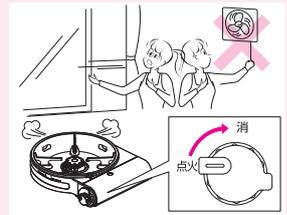
- ・ 使用時間の経過とともに火力が弱まる場合は、室温が15℃程度以上、40℃以下の場所で保管されている容器(ボンベ)に交換してお使いください。
- ・ 使用時間の経過とともに、容器(ボンベ)の温度が下がり、缶の表面が水滴で濡れる場合がありますが、異常ではありません。

# 使用上の注意



**!** ガス漏れに気づいたら、すぐに火を消す  
(引火により爆発のおそれがあります)

- ガスが漏れるとガスのニオイ(くさった玉ねぎのようなニオイ)がします。ブタンガスは空気より重く下部にたまります。火気を使用せずに、すぐに次の処置を行ってください。
- ①直ちに火を止める。(点火つまみを「消」の位置にする)
- ②容器(ボンベ)を取り外す。
- ③窓や戸を開けて漏れたガスを外に出す。(換気扇は使用しないでください)



## ■使用場所について



**!** 次のような場所では絶対に使用しない  
(火災や爆発、死亡事故、やけどの原因となります)

●狭い場所や換気の悪い場所



テント内や車内、乗り物の中など狭い場所では絶対に使用しないでください。使用中は酸素を大量に消費するため、**酸欠による窒息死や一酸化炭素中毒死**の原因になります。また、周囲の可燃物に引火して、火災のおそれがあります。

●乗り物や不安定な場所



使用中に本体が傾いたり大きく動いたりすると、炎が大きくなり危険です。また、本体が転倒するおそれがあり危険です。ゆれたり、傾いたり、動いたりすることのない、安定した水平な場所でご使用ください。

●強い風のところ

強い風のところで使用すると、バーナーの炎が本体に巻き込まれ、事故、本体焼損の原因になります。

●容器(ボンベ)が過熱する場所



夏の砂浜やアスファルトなど日光によって容器(ボンベ)が過熱するような場所では使用しないでください。

●火気の近くや熱気のある場所



火気から2 m以上離す。

●周囲に、容器(ボンベ)・ヘアースプレーなどの高温禁止物や布・紙類などの燃えやすいものがある場所



**!** 次のような場所では絶対に使用しない  
(やけどや本体の焼損・変形・変色や家財など損傷の原因となります)

●タミ、ジュウタン、テーブルクロスなど熱に弱いものの上

●棚の下など、落下物の危険がある場所

●風の吹き込む場所や風を吸い込む場所

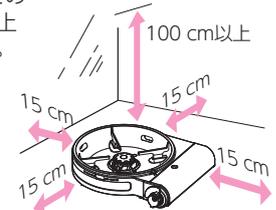
●本体の底部から空気や煙を吸い込む場所(無煙ロースター付きのテーブル等)

●本体の下が砂や小石、あるいは草・植物の切り株などで、容器(ボンベ)やバーナーに対して輻射熱や物理的な影響を及ぼすような場所



**!** 防災上必要な距離をとって設置する

使用の際には家具や壁(木造建築)などの可燃物から周囲15 cm以上離してご使用ください。本製品上方と、可燃性の天井、棚、電気器具などの間は100 cm以上離してください。

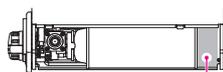


## ■使用前に



**!** 容器(ボンベ)の底部と、本体の間に物(小石や厚紙の束など)をはさまない

(圧力感知安全装置が動かなくなり、容器(ボンベ)が爆発するおそれがあります)



ここに物をはさまないこと。



**!** 必ず、ガス漏れがないこと、点火・消火動作に異常のないことを確認してから使用する

故障または破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。



**!** 容器(ボンベ)は確実に装着する

(ガスが漏れて火災の原因となります)



**!** 本体の下に燃えやすいもの、熱に弱いもの(テーブルクロス、ビニールクロス、新聞紙など)を敷いたり、通気の妨げになるものを置かない



**!** 無垢材、一枚板、ガラス製のテーブル、漆塗り、塗装、ウレタン系コート、合成樹脂材などの熱に弱いテーブルの上でご使用の場合は、テーブルの耐熱温度および取扱上の注意を確認のうえ使用の可否をご判断ください

(使用中の本体の底部はたいへん熱くなっており、テーブルの割れ、変形、破損、焼損が起きるおそれがあります)

## ■使用中・使用後は



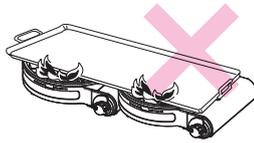
### 次のような使い方を絶対にしない

(容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります)

#### ●調理器具の空き



#### ●本製品を2台以上並べての使用



#### ●しる受け全体をふさいだり容器(ボンベ)カバーを覆ってしまう大きな調理器具(鉄板等)を載せての使用



容器(ボンベ)カバー

小さい鍋をご使用になる際は、鍋が安定して載っていることを確認後、ご使用ください。鍋が転倒するおそれがあります。

#### ●他の熱源(電気こたろ、電磁調理器、等)の上での使用や保管



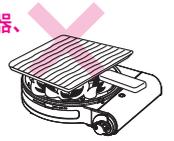
#### ●石や砂、陶器、セラミックスなどを使い蓄熱で調理する器具(焼きイモ器など)の使用

#### ●「しる受け」を外したままでの使用

#### ●炭の火起こしなどの用途への使用



#### ●セラミック付焼き網器、石板、陶板、セラミックを使用した焼肉器や魚焼き器、省エネごとく、省エネリング、輻射熱の強い器具の使用。また、アルミホイルなどでしる受けや専用プレートなどを覆っての使用



(輻射熱により本体に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発する原因となります)



### 火を点けたままそばを離れない

火を点けたまま本製品のそばを離れないでください。外出や就寝の際は必ず消火を確認してください。電話や来客などの場合も火を消してください。特に揚物等の調理の際は、本製品から目を離すことのないよう注意してください。



### 火を点けたまま傾けたり、移動させない

(転倒するとやけどや火災の原因になります)



### 本製品を衣類の乾燥やストーブの代わりに使用しない

(衣類が落下するなど、火災の原因となります)



### 引火のおそれのあるものを近くで使用しない

ヘアスプレー、ガソリン、灯油など、引火のおそれのあるものを近くで使用しないでください。(引火による爆発、火災の原因となります)



### 子供だけで使わせない

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。



### 調理以外に使用しない

(過熱や異常燃焼などによる焼損や火災などのおそれがあります)



### バーナーヘッド付近に顔や手を近づけない

(炎によりやけどのおそれがあります)



### 使用中は換気をする

ご使用と同時に換気扇を回すなど換気に十分に注意してください。

(閉めきった部屋で使用すると酸欠による窒息死や一酸化炭素中毒死の原因となります)



### 一度で点火しなかった場合は引火に注意する

再点火の際は、ガスのニオイがなくなったことを確認してから行ってください。溜まったガスがあると、爆発的に点火したり、周囲に引火する危険があります。



### 使用後は容器(ボンベ)を取り外す

使用後は火災防止のため、容器(ボンベ)を必ず本体から取り外してください。装着したまま保管すると何らかの原因で点火つまみが回った場合、ガス漏れや引火の可能性があり非常に危険です。



### 絶対に改造・分解は行わない

(分解は一酸化炭素中毒死やガス漏れなどの思わぬ事故や故障・火災の原因となります)



### 使用時や使用後しばらくは点火つまみ以外には手を触れない

(やけどのおそれがあります)



### 異常時や緊急時はあわてず次の手順に従う

異常例) 異常音・異常臭がする、赤火が起こる など

- ① 点火つまみを「消」にして消火する
- ② 容器(ボンベ)を本体から取り外す(P.5)
- ③ 「故障かな?」と思ったら(P.10、11)に従う



### 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき燃焼していることを確認する

火が消えている状態で点火つまみが「消」以外の位置になっているとガスが出て危険です。ご注意ください。



### 補助具はこの機器用の付属品あるいは指定のもの以外は使用しない

(予期しない事故の原因となります)



### 非常に重い鍋を載せたり、荷重をかけたりしない

ごとくにかかる荷重(鍋と食品の合計重量)が5 kgを超えるような使い方はしないでください。

(変形が生じて予期しない事故の原因となります)



## ■ガラスぶたの取扱いについて

ガラスぶたは割れものです。取扱いには十分ご注意ください。



-  **空だきは絶対にしない**  
(ガラスが破損する場合があります)
-  **■ガラスぶたが濡れたまま使用しない**  
**■ガラスぶたが熱いうちに**  
**水の中につけたり、水をかけたり、**  
**濡れた布でふれたりしない**  
(急激な温度変化によりガラスが破損するおそれがあります)
-  **落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えない**  
(破損の原因になります)
-  **ガラスぶたにヒビ、傷等の入った場合は使用しない**  
(破損しやすくなります)
-  **ガラスぶたを専用プレートからずらして使用しない**  
(ガラスぶたが部分的に加熱され、破損の原因になります)
-  **ガラスぶたは本製品専用のため、他の調理器具等には使用しない**  
(ガラスの割れ等、思わぬ事故につながる原因となります)  
●電子レンジやオープンでは使用しないでください。

-  **お手入れするときは**  
**研磨剤入りのスポンジや金属たわし、**  
**クレンザー等を使用しない**  
(ガラスに傷がつき、破損の原因となります)
-  **万一、ガラスぶたを破損したときは、**  
**手を切らないように注意する**  
万一、破損した場合はガラスが細かく割れますので、取り除くときは十分注意してください。
-  **ガラスぶたの取っ手がゆるんだら、**  
**必ず手で締め直す**  
ガラスぶたが落下して危険です。  
●片方の手でガラスぶたの内側のねじを押さえながら締め直す。

裏側のネジを  
指で押さえながら



### お願い 〈専用プレートとガラスぶたの取扱いについて〉

- 専用プレートは本製品専用です。他のこんろや電気式グリルに使用しないでください。専用プレートが溶解したり、他のこんろや電気式グリルが破損する場合があります。
- 持ち運ぶときは、片手で持ったり、傾けたりしないでください。ガラスぶたや専用プレートが落下すると破損し、けがの原因となります。
- 初めてお使いになるときは、中性洗剤等で洗い、よく乾かしてからご使用ください。
- 調理中や消火直後は専用プレートを素手で持たないでください。専用プレートが熱くなっていますので、やけどのおそれがあります。必ずミトンなどを使用してください。
- 空だきは絶対にしないでください。専用プレートのフッ素樹脂加工の劣化やはがれの原因になります。
- 金属製の調理器具は使わないでください。樹脂製または木製のへらやおたまを使用してください。金属製のへら・おたま・フォーク・ナイフなどは専用プレートのフッ素樹脂加工面を傷つけ、劣化やはがれの原因となります。
- へらなどでこすると光沢ムラができることがありますが、使用上さしつかえありません。
- ご使用にともない調理面に色むらが出ることがありますが、これは食品の油脂分や熱によるもので、使用上さしつかえありません。
- 料理の残りや水を入れたまま放置しないでください。こびりつきや腐食の原因になります。
- 高温状態の専用プレートを急激に冷やさないでください。急激な温度変化により変形するおそれがあります。
- お手入れは、本体が十分に冷めていることを確認してから行ってください。特に消火直後は、非常に高温になっていますので、ガラスぶたと専用プレートには水をかけないでください。熱湯・油が飛び散りやけどするおそれがあります。
- お手入れには研磨剤入りのスポンジや金属たわし、クレンザー等を使用しないでください。専用プレートのフッ素樹脂加工面を傷つけ、腐食や調理物のこびりつきの原因となります。
- 食器洗浄機を使用する場合は、注意してください。洗剤のアルカリ成分がすすぎきれずにガラスぶたに残るとガラスをくもらせます。
- 専用プレートのフッ素樹脂加工の劣化やはがれは製品の機能保証に含まれませんのでご注意ください。

# ■容器(ボンベ)の取扱いについて

容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでから使用してください。使用時以外は必ずキャップをしてください。



## 次のことを必ず守る

(火災や爆発事故の原因となります)

### ●高温になる場所に置かない



高温になる場所や、熱気のある場所に保管や放置しないでください。

### ●完全に使い切ってから廃棄する

容器(ボンベ)を振ってシャカシャカと音がする場合には、まだガスが残っています。必ず完全に使い切ってから廃棄してください。



### ●容器(ボンベ)は火気や直射日光を避けて保管する

使用後は容器(ボンベ)を本体から取り外し、火気や直射日光(室内や車内の窓際なども含む)を避け、キャップをはめて、湿気の少ない40℃以下の場所で保管してください。

### ●容器(ボンベ)は火中に投じない



## 容器(ボンベ)のガスを故意に吸い込まない

(酸欠により窒息死する原因となります)



## 容器(ボンベ)に強い衝撃を与えない

(落下による衝撃などで破損やガス漏れによる引火のおそれがあります)



## 変形した容器(ボンベ)は使用しない

(ガス漏れの原因となります)



## 専用の容器(ボンベ)を使用する

必ず「イワタニカセットガス」と表示されている専用の容器(ボンベ)を使用してください。他の容器(ボンベ)を使用すると、ガスが漏れたり正常な使用ができない場合があります。



## 容器(ボンベ)は錆のないことを確認して、製造日(缶底に西暦年月日で印字)から約7年以内を目安に使い切る

錆が発生し始めている場合には、ガス漏れのないことを必ず確認して、できるだけ早く使い切ってください。

# 使用後のお手入れと点検

## ■点検・お手入れの際のご注意

使用後は点検、お手入れを行ってください。

- 手、指の保護のため、必ず手袋などを使用してください。
- 本体の丸洗いは絶対におやめください。ガス通路に水が入ると、ガスが出なくなったり、錆の原因となります。
- 点検・お手入れの前には、必ず容器(ボンベ)を取り外してください。
- 点検、お手入れは本体が冷めてから行ってください。
- ガス通路部分は絶対に分解しないでください。
- 煮こぼれたときは、必ずバーナーヘッドを掃除してください。

点 検	お手入れ方法	ご 注 意
煮こぼれ・汚れの有無	固く絞った布で汚れをふき取ってください。汚れが取れにくいときは中性洗剤を使ってお手入れした後、乾いた布で、十分に水気を取っておいてください。本体内部に煮こぼれの汚れが付着したときは、しる受けを外して内部の汚れをふき取ってください。	水気や汚れを放置すると故障や錆の原因になりますので、常に内外をきれいにしておいてください。しる受けの取り外し取り付けや、汚れをふき取る際は、電極を動かさないでください。
バーナーの目づまり	ブラシや千枚通しなどできれいに掃除をしてください。(このとき、電極の位置を動かさないようにしてください)	不完全燃焼、あるいは炎の不揃いの原因になります。バーナーは常にきれいにしておいてください。
電極・炎感知センサーの汚れ(点火しなくなった場合)	乾いた布で、位置がずれないように力を加えずにふき取ってください。	点火不良の原因となります。お手入れのとき、点火つまみを「点火」方向に操作すると感電することがありますので、点火つまみは「消」の位置で動かさないように注意してください。
本体・容器(ボンベ)の汚れ	乾いた布でよく拭いてください。汚れが取れにくいときは、中性洗剤を使ってお手入れした後、乾いた布で十分に水分を取っておいてください。	シンナー・ベンジン・みがき粉などの使用は、表面を傷つけるおそれがあります。また、ナイロンたわし・金属製のたわしでこすると、本体や容器(ボンベ)を傷つけますのでお控えください。
専用プレート・しる受けの汚れ	中性洗剤を使用してやさらかいスポンジで洗い、よく乾かしてください。(研磨剤入りのスポンジや固いスポンジ、金属たわしを使うと傷がつくおそれがあります) ●しる受けの取り外し方→P.4	●専用プレート表面のフッ素樹脂加工を傷つけないよう注意してください。 ●専用プレートはつけおき洗いはしないでください。 ●専用プレート裏面の汚れや異物は取り除いてください。 ●熱いうちに水などにつけて急冷しないでください。変形するおそれがあります。
ガラスぶたの汚れ	中性洗剤を使用してスポンジで洗い、よく乾かしてください。	熱いうちに水につけないでください。ガラスぶたが破損するおそれがあります。

## ●ご使用の有無にかかわらず、古くなった製品は、安全のためご使用前に点検修理をご依頼ください。

※部品保有期間が過ぎた製品は、修理ができない場合もあります。

## ■長期間使用しないとき

- 各部が汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
- 各部が十分冷めてから、梱包箱または袋に入れて、湿気の少ない場所に保管してください。
- 本体に容器(ボンベ)を装着した状態のまま保管することは絶対におやめください。別々に保管してください。
- 本製品は、ときどき点検して、錆びたりしないようお手入れを行ってください。

## ■製品の経年劣化に関するご注意

本製品のガスの接続口にはゴム部品が使われていますが、ゴム部品は使用の頻度にかかわらず年月とともに劣化していきます。本製品においては、製造後10年を目安に買い替えをご検討いただけますようお願い申し上げます。  
●製造年月は定格銘板に記載されています。

# 「故障かな?」と思ったら

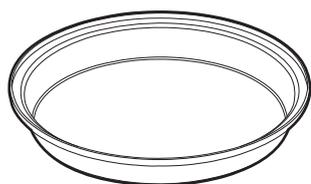
本製品を使用中に次のような症状が起きましたら、処置方法を参考に対処してください。

症状	処置方法	
	原因の確認	処置
<b>容器(ボンベ)を装着できない</b> → 処置方法 <b>1 2 3 4 11 12</b>	<b>1</b> 本体に変形や歪みがありませんか？	▶ 点検修理をご依頼ください。
<b>点火しにくい</b> → 処置方法 <b>4 5 6 7 8 9 17</b>	<b>2</b> マグネットに鉄片、鉄粉が付着していませんか？	▶ 粘着テープで鉄片、鉄粉を取り除いてください。
<b>点火しない</b> → 処置方法 <b>5 6 7 8 9 10 11 12 13 15 16 17 19</b>	<b>3</b> 点火つまみが「点火」になっていませんか？	▶ 点火つまみを「消」にして、容器(ボンベ)を装着してください。
<b>バーナーに火移りしない</b> → 処置方法 <b>5 7 10</b>	<b>4</b> 他社の容器(ボンベ)を使用していませんか？	▶ イワタニ専用の容器(ボンベ)をご使用ください。
<b>黄炎で燃える</b> → 処置方法 <b>7 10</b>	<b>5</b> ガスがなくなっていないですか？ ガスが少なくなっていないですか？	▶ 新しい容器(ボンベ)に取り替えてください。
<b>炎が安定しない</b> → 処置方法 <b>7 10</b>	<b>6</b> 電極部に汚れや水分が付着していませんか？	▶ 汚れ・水分をふき取ってください。
<b>炎が不揃い</b> → 処置方法 <b>7</b>	<b>7</b> バーナー炎口部が目づまりしていませんか？	▶ 金属ブラシなどで目づまりを取り除いてください。
<b>火力が弱い</b> → 処置方法 <b>5 7 10 14</b>	<b>8</b> 正しく点火操作をしていますか？	▶ 正しい点火操作をしてください。(P.5)
<b>ガスのニオイがする</b> → 処置方法 <b>4 8 9 12 19</b>	<b>9</b> 点火つまみが故障しているおそれがあります。	▶ 点検修理をご依頼ください。
<b>使用中に火が消えた</b> → 処置方法 <b>5 10 11 17 18 19</b>	<b>10</b> ガス導管(ノズル)がつまっているおそれがあります。	▶ 点検修理をご依頼ください。
<b>消火しない</b> → 処置方法 <b>9</b>	<b>11</b> 圧力感知安全装置が作動していませんか？	▶ 「●圧力感知安全装置が作動したときは」(P.3)に従って解除してください。
<b>点火つまみを「消」にしてもガスが漏れる</b> → 処置方法 <b>4 9 12</b>	<b>12</b> 容器(ボンベ)が正しく装着されていますか？	▶ 容器(ボンベ)を正しく装着してください。(P.4)
	<b>13</b> 点火装置が故障しているおそれがあります。	▶ 点検修理をご依頼ください。
	<b>14</b> 点火つまみを全開にしていますか？	▶ 点火つまみを全開にしてください。
	<b>15</b> 電極からバーナーに火花が飛んでいますか？ 電極の位置がずれていませんか？	▶ 電極からバーナーに火花が飛んでいない場合、電極の針先とバーナーとの距離が3mm程度、左右のズレがなく炎口の中心になるように調整してください。
	<b>16</b> 火花は飛んでいますか？	▶ 火花が飛んでいない場合、電極の白い部分(セラミック)に汚れや水滴が付着しています。汚れや水分を取り除いてください。
	<b>17</b> 炎感知センサーに汚れや水分が付着していませんか？	▶ 汚れ・水分をふき取ってください。
	<b>18</b> 炎感知センサーの位置がずれています。	▶ 炎感知センサーの先端とバーナーヘッドの距離が3mm程度となるように調整してください。
	<b>19</b> 立ち消え安全装置が作動していませんか？	▶ 風や吹きこぼれなど、立ち消え安全装置が働く原因を取り除き、再点火してください。

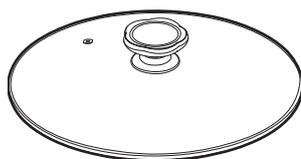
症状	処置方法	
	原因の確認	処置
電極の周りの炎が赤くなる → 処置方法 20	20	ご購入後、初めて使用すると電極の周りの炎が赤くなります。数回使用すると赤い炎は消えます。そのままご使用ください。
消火時に「ポッ」という音がする → 処置方法 21	21	火が消えたときの音で異常ではありません。そのままご使用ください。
バーナーより炎が離れて燃焼する → 処置方法 22	22	異常ではありません。2～3分間、点火つまみを少し絞って使用してください。

## 部品のご案内

取り替え可能な消耗部品・別売部品は、必ず当社の純正部品をお使いください。



専用プレート  
品番：CB-GP-2-P



ガラスぶた(取っ手付き)  
品番：CB-BST-3-C

### 修理・部品のご購入について

部品ご購入の窓口  
イワタニサービスセンター



0570-200362

(受付:月～金 9:00～17:00)  
(祝日、弊社休業日を除く)

主要部品については、イワタニグループの通販サイト

**イワタニ i-COLLECT**

で販売しております。

右の二次元バーコードより部品のご案内をご覧ください。

<https://www.iwatani.co.jp/jpn/consumer/products/cg/support/parts/>  
(部品のご案内はこちら)



